

由良宿まちづくりの会総会

コロナ禍で開催も難しいところではありましたが、対策をしっかりされての総会の開催、誠におめでとうございます。

日頃は、井川会長さんをはじめ、会員の皆様には、まちづくりのため、ご尽力をいただき、感謝申し上げます。

さて、昨年も新型コロナウイルス感染症の影響で活動も計画通りにはいかなかったと思います。一日も早く収束することを願っております。

さて、みなさんは（まちなみをきれいにする作業や地元のまつりとの連携、さらには自己研鑽のための視察研修など）由良宿の活性化のため、積極的な取組を行っていらっしゃると思います。また（レッツゴー北栄ツアーとの連携にもみられますように）他団体や他事業と連携され、取り組んでおられます。コロナ禍で活動が困難ではありますが、できる方法をみつけて、取り組んでいただけたらと思います。

話はかわりますが、この度は、岡本先生がお亡くなりなり、医院もなくなってしまいました。地域医療の危機でございます。地域医療の危機は、そのまま地域の危機であります。また鳥取中央育英高校の毎年の定員割れも心配であります。高校の存続は、町（自治体に）とっても、その年代の少なくなるという全国的なデータもあり、地方創生の政策として「高校」の位置づけが重視されています。これらの課題について、現在、役場でもPTを結成し、在り方等について、検討を進めているところです。

また、町民のみなさんがまちづくりに参加する「ほくえい未来らぼ」を企画しました。今年度は、中央公民館大栄分館の今後の在り方等について、話を進めていこうとしています。

青山剛昌ふるさと館の再整備も進めています。

このように由良宿は、課題も多くありますが、可能性と多く持ったまちであり、大きく注目されるまちであります。

今後も引き続きの取組みと会のますますの発展と会員の皆様のご活躍を祈念し、あいさつとさせていただきます。

令和4年4月23日

北栄町長 手嶋俊樹